

平成29年度 岩手県民俗芸能フェスティバル

岩手の大地に舞う

<出演>

山内神楽保存会(軽米町) 宿大乘神楽保存会(北上市) 大槌町虎舞協議会(大槌町)
原躰剣舞保存会(奥州市) 長野獅子踊り保存会(遠野市)

<特別出演>

第40回(平成29年度)岩手県高等学校総合文化祭 郷土芸能部門優秀校



11月3日(金)

開場12:30 開演13:00

岩手県民会館大ホール

入場無料

(一部を除き自由席)

主催/岩手県

(一社)岩手県文化財愛護協会

共催/(公財)岩手県文化振興事業団・岩手県民俗芸能団体協議会

後援/岩手県教育委員会・(一社)岩手県芸術文化協会・岩手県高等学校文化連盟

岩手県中学校文化連盟・岩手県高等学校長協会・岩手県中学校長会・岩手県教職員組合

岩手県小学校長会・岩手県高等学校教職員組合・(一社)岩手県PTA連合会

(一社)岩手県私学協会・岩手日報社・盛岡タイムス社・IBC岩手放送・テレビ岩手

NHK盛岡放送局・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・岩手ケーブルテレビジョン

エフエム岩手・ラヂオもりおか・盛岡市老人クラブ連合会

お問い合わせ (一社)岩手県文化財愛護協会

〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34(岩手県立博物館内)

TEL&FAX:019-661-9688 E-mail:ib.aigo@k6.dion.ne.jp



平成28年度 岩手県民俗芸能フェスティバルより

出演団体紹介

さんない 山内神楽保存会(軽米町)

慶長9年に軽米町大字山内字権現林にある山内鎮座武甕槌神社に伝わってきたもので、代々神官(工藤氏)が山伏等に修業させたのが始まりという。一時途絶えたが、山内青年会が中心となり昭和51年に復活。保存会を結成し、小学生たちへの伝承活動や演目の復活などにも積極的に取り組んでいる。

しゆくだいじょう 宿大乘神楽保存会(北上市)

明治34年に村崎野大乘神楽から相伝され、宿大乘神楽として発祥し下宿神楽連中を結成した。一時中断後、昭和52年に復活。伝承館を建て、現在は宿大乘神楽保存会として小中高生などに指導、後継者育成に努めている。平成13年に県の無形民俗文化財に指定された和賀の大乘神楽の保存団体でもある。

とらまい 大槌町虎舞協議会(大槌町)

平成2年の大槌町郷土芸能保存団体連合会発足と同時に、虎舞部会としてスタート。当初は安渡、向川原、陸中弁天、吉里吉里虎舞の4団体だったが、平成9年に城山虎舞が加入し、その後吉里吉里虎舞が脱会。現在4団体の連合体「大槌虎舞」として活動している。東日本大震災津波で大きな痛手を受けたものの、会の結束は一層強まり、県内外で精力的に活動している。

ほらたいけんぼい 原躰剣舞保存会(奥州市)

昭和43年ころ全地区民で結成された剣舞後援会を母体に、昭和48年に名称を改め現在に至っている。踊り手である子供たちの減少、囃子方を務める大人の就労形態の変化に伴い、伝承活動が難しいなか、世代を超えた交流の核として、地区民の協力を得て伝承活動に努めている。昭和48年に江刺市の無形民俗文化財に指定された。

ながのしし 長野獅子踊り保存会(遠野市)

東山五書が慶長2年に伝えたのが始まりといわれ、遠野郷しし踊りの源流の一つとして、古い歴史を有する。保存会では遠野郷八幡宮例大祭のほか、各種イベントに積極的に参加。児童への指導も行い、保存伝承活動に意欲的。平成26年の岩手県無形民俗文化財指定後は、さらに活動が活発となっている。

〈特別出演〉

第40回岩手県高等学校総合文化祭 郷土芸能部門優秀校

高文祭郷土芸能発表会で決定

(開催日:平成29年10月21日(土))
(会場:矢巾町文化会館田園ホール)



■岩手県民会館アクセス

盛岡市内丸13-1 (TEL019-624-1171)

□JR盛岡駅よりバス

「バスセンター」行 県庁・市役所前下車・徒歩2分

□お車をご利用の場合

県民会館及び周辺の有料駐車場をご利用ください。